

頌栄

No. 114

日本キリスト教団 頌栄教会

〒155-0031

世田谷区北沢 1-42-10

Tel 03-3467-3664

Fax 03-3467-8332



キリストの体の部分として 世に遣わされて生きる

牧師 清弘 剛生

あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。 1コリント12・27

体は何のために存在しているのでしょうか。わたしの体は、体自体のために存在しているわけではありません。わたしの体は、わたしの意志を体の外の世界において実現するために存在しているのです。この世との関わり、他者との関わりのために、この体というものは存在しているのです。

教会は「キリストの体」であると聖書は語ります。先に述べたことはキリストの体においても同じです。キリストの体なる教会は、この世界の中

にキリストの意志を実現するために存在しているのです。教会(体)自身のために存在しているわけではありません。

教会が自分自身のために存在しているのではないという事実は、礼拝の最後に派遣の言葉と祝福が置かれていることから分かります。一人ひとりには、派遣の言葉をもってそれぞれの生活の場へと遣わされます。そこにこそ、キリストがその体を通して神の愛をもって触れたいと思ひ、愛したいと思っている「この世」があるのです。わたしたちはキリストの体の部分として遣わされ、「主なる神に仕え、隣人を愛

し、主なる神を愛し、隣人に仕える」(派遣の言葉)のです。

自分がキリストの体の部分であることを意識するならば周りの人々との関係も変わります。誰との関係であれ、「自分の必要が満たされるか否か」が関心の中心にあるならば、必要が満たされなくなつた時にその関係は困難に陥ります。「うしてくれない」という不満が積み重なれば関係も壊れていきます。しかし、キリストの体の部分であることを意識するなら与えられている関わりの意味と目的が変わります。私たちは愛するために、この世の出会いを与えられたのです。仕えるために、この世における関わりを与えられているのです。世に遣わされ、キリストの体の部分として生きるとは、そのような関わりに生きることには他なりません。